

# やまもも

稲沢市立大里東中学校学校だより  
令和5年3月吉日 第182号

編集・発行 長澤 辰夫

朝あけの 窓吹きいるる 春風に いづくともなき 梅が香ぞする  
二条 為世（新拾遺和歌集より）

新拾遺和歌集は室町時代に編纂された勅撰和歌集です。歌の意味は、「朝に開けた窓から入ってくる春の風によって、どこからともなく梅の香りがしているよ」です。各地の梅林から、梅の便りが聞かれるようになってきました。色とりどりの梅の花と、鼻腔をくすぐる甘い香りが、明るい春の訪れを告げています。

3学期も後半へと入ってきました。3年生は卒業を、1・2年生は先輩との別れを意識し、3年生を送る会、そして、卒業式が思いで深いものとなるよう、気持ちを込めて練習に臨む子どもたちの姿が見られるようになってきました。子どもたちの活動する姿を見ながら、やがて来る別れにもの悲しさを感じながら送る日々です。

## 温もりを感じる3年生を送る会でした！

例年、2月に行っていた3年生を送り会ですが、今年は、2月が受検の真ただ中！その関係で3月2日（木）に3年生を送る会を行いました。この日に向けて、生徒会執行部が中心になり、1年生、2年生の生徒が会の運営にかかわる形で、準備が進められました。会は、3年生の先輩に心から感謝し、喜んでもらおうと、真心のこもった出し物の連続で、寒の戻りで寒かった体育館も気のせいかぼかぼかしていたように思います。また、後輩たちの一生懸命な姿に、笑顔と拍手で応えていた3年生の姿も立派でした。とても素晴らしい会であったと思います。

